

## 【目標達成計画】

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	外出レクが少ない（遠くに行く事が無い） 天気の良い日は施設の周辺を散歩するが、ご利用者が限られている	2ヶ月に1回程度は外出する機会を提供出来るように計画、実行する	季節に応じた年間計画を作成して実行する ご家族にも支援を求めると、全員参加は厳しい	10ヶ月
2	2	グループホームは地域密着型と言われるが、地域との交流が少ない	地域の行事スケジュールを把握して参加できそうな行事を見つけて参加する また、1階の地域交流室を利用して地域との交流を深める	広報を見てイベントを把握する 運営推進会議などを通じて地域の活動を知る 社会福祉協議会に支援を頂き、ボランティア行事を定期的に行って頂く	12ヶ月
3	26	チームケアが十分できているとは言えない スピーチロック、転倒などの事故が少なくない	チームケアの探求と事故の削減 事故は50%削減を目標とする 10件→5件 スピーチロックを中心に改善を図る	事故についてはヒヤリハットの活用により削減の切り口を見出す スピーチロックは身体拘束委員会などを通じて事例を作成、共有化を図り、実践に繋げる	10ヶ月
4	35	夜間を想定した防災訓練が実施されていない 備蓄品が確保できていない	夜間想定での防災訓練を実施する 食料品を中心に3日程度の備蓄品の確保を検討する	消防署や地域の自衛消防隊などに協力を得て実施したい 必要な物資を把握して順次、備蓄して行く	8ヶ月
5					ヶ月

※項目の欄は、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入するか、コピーしてページを増やして下さい。